

NSG

GROUP

NSG グループ

2021年3月期第1四半期決算報告

(2020年4月1日～ 2020年6月30日)

日本板硝子株式会社
2020年8月6日

楠瀬 玲子

執行役常務 CFO

クレメンス・ミラー

代表執行役副社長兼COO

イアン・スミス

執行役 グループファイナンス担当ディレクター

目次

1. 2021年3月期第1四半期 決算概要
2. 2021年3月期第1四半期 事業状況
3. 新型コロナウイルス感染症の事業影響
4. 2021年3月期見通し
5. 今後を見据えてのアクション
6. まとめ

2021年3月期第1四半期 決算ハイライト

2021年3月期第1四半期は新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大の影響を大きく受ける

売上高	919億円 (△552億円)	COVID-19影響に伴う出荷減により、前年同期比△38%（為替影響を除けば△34%） 太陽電池パネル用ガラスは引き続き需要堅調
営業損失 (無形資産償却後)	△6億円 (△94億円)	売上減により大きく減益、コスト削減で一部相殺
営業損失 (COVID関連 個別開示項目後)	△121億円 (△209億円)	主に4月-5月にかけてのCOVID-19に関わる費用（設備 休止費用等を含む）計上の影響
親会社所有者に 帰属する当期利益	△164億円 (△193億円)	大幅な売上減と営業損失による影響
フリー・キャッシュ・フロー	△467億円 (△199億円)	当期損失に加え、運転資本の季節変動等による影響

() 内は前年同期比増減

連結損益計算書

売上は前年同期比大幅減となるも、6月の回復によりQ4時の想定に対しプラス

(億円)	2020年3月期 4月-6月期	2021年3月期 4月-6月期
売上高	1,471	919
営業利益／（損失）*	88	(6)
個別開示項目（COVID関連）	-	(115)
COVID関連個別開示項目後 営業利益／（損失）	88	(121)
個別開示項目（その他）	(6)	(1)
金融費用（純額）	(35)	(24)
持分法による投資損益	5	(4)
税引前利益／（損失）	52	(149)
当期利益／（損失）	31	(165)
親会社の所有者に帰属する当期利益 ／（損失）	29	(164)
EBITDA	175	61

前年同期比 Q1実績及びQ4時想定

	前年同期比	当初想定 (5/22開示)
建築用ガラス	△25%	△30~40%
自動車用ガラス	△50%	△50~60%
高機能ガラス	△20%	△10~20%
グループ売上	△38%	△40~50%

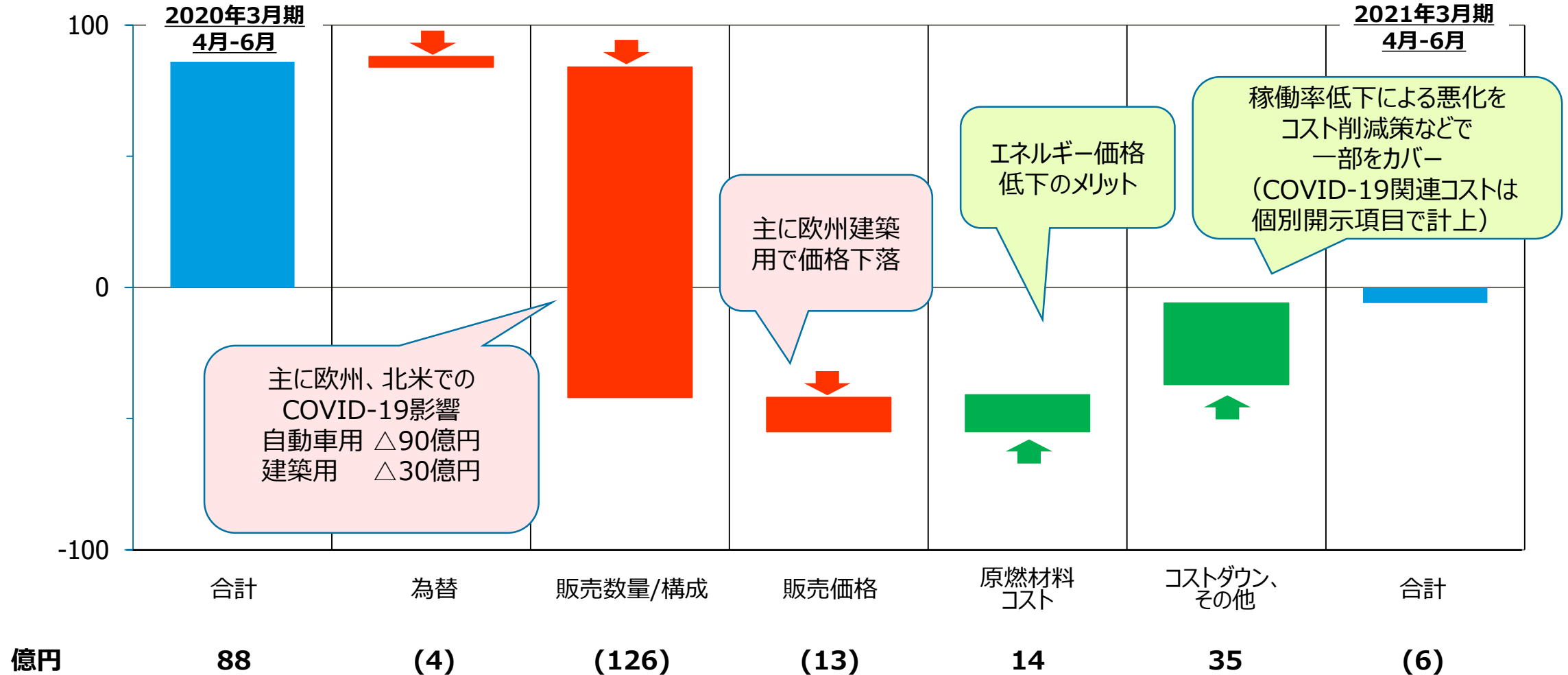
グループ売上 前年同期比月別推移

4月	5月	6月
△52%	△46%	△14%

*: ピルキントン買収に伴って発生した無形資産償却後。当Q1の償却費は4億円

営業利益差異分析 (無形資産償却後)

自動車用ガラスを中心にCOVID-19に伴う著しい数量減の影響を受ける



連結貸借対照表

単位：億円

	2020年3月末	2020年6月末	増減
資産	7,652	7,575	(77)
非流動資産	5,411	5,478	67
のれん・無形資産	1,386	1,398	12
有形固定資産	2,945	2,969	24
その他	1,080	1,111	31
流動資産	2,241	2,097	(144)
現金及び現金同等物	436	365	(71)
その他	1,805	1,732	(73)
負債	6,770	6,868	98
流動負債	2,004	1,783	(221)
金融負債	587	703	116
その他	1,417	1,080	(337)
非流動負債	4,766	5,085	319
金融負債	3,763	4,077	314
その他	1,003	1,008	5
資本	882	707	(175)
親会社の所有に帰属する持分	736	560	(176)
非支配持分	146	147	1
負債及び資本	7,652	7,575	(77)

連結キャッシュ・フロー

単位：億円

	2020年3月期 4月-6月期	2021年3月期 4月-6月期	増減
当期(損失)/利益	31	(165)	(196)
減価償却費	87	86	(1)
減損損失	6	-	(6)
資産売却益	(10)	(6)	4
法人所得税支払額	(32)	(12)	20
その他	11	12	1
営業活動によるキャッシュ・フロー（運転資本の増減考慮前）	93	(85)	(178)
運転資本の増加	(194)	(221)	(27)
営業活動によるキャッシュ・フロー	(101)	(306)	(205)
有形固定資産の取得			-
－戦略投資等	(131)	(62)	69
－その他	(60)	(70)	(10)
子会社株式及び関連会社株式の取得	-	(33)	(33)
資産売却収入	20	11	(9)
その他	4	(7)	(11)
投資活動によるキャッシュ・フロー	(167)	(161)	6
フリー・キャッシュ・フロー	(268)	(467)	(199)

主要財務指標 (KPI)

ネット借入は当期損失とフリー・キャッシュ・フローの悪化により増加

	<u>2019年6月末</u>	<u>2020年6月末</u>	<u>2020年3月末</u>
ネット借入 (億円)	3,883	4,407	3,902
ネット借入/EBITDA	5.3x	10.1x	7.1x
ネット借入/純資産比率	3.4x	6.2x	4.4x
自己資本比率	13.5%	7.4%	9.6%
	<u>2020年3月期 4月-6月期</u>	<u>2021年3月期 4月-6月期</u>	<u>2020年3月期</u>
営業利益率 *	6.0%	△0.7%	3.8%

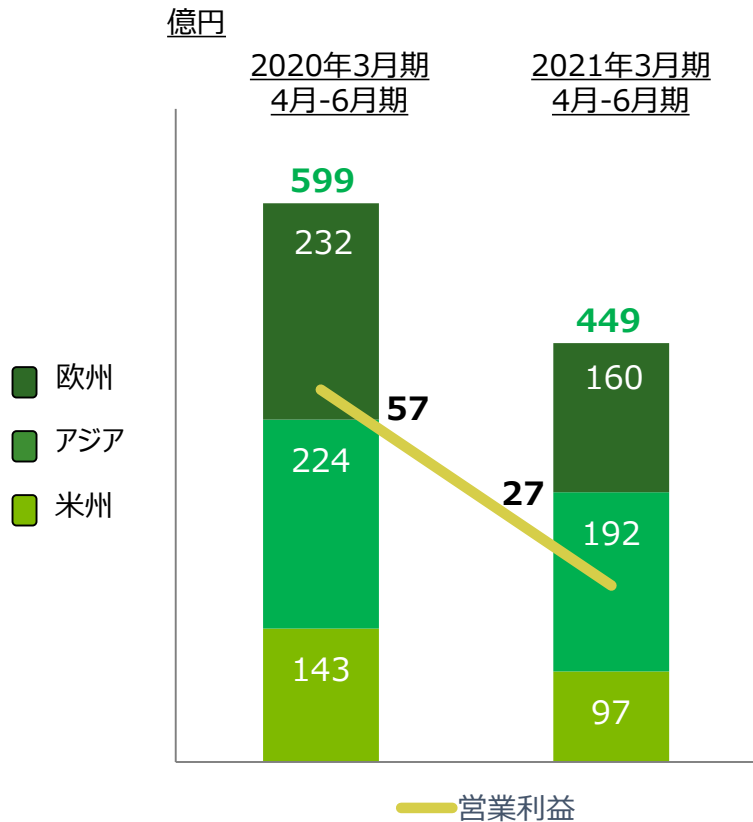
*: 無形資産償却後営業利益ベース

セグメント情報

(億円)	2020年3月期 4月-6月期			2021年3月期 4月-6月期			増減	
	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	営業利益
建築用ガラス事業	599	41%	57	449	49%	27	(150)	(30)
欧州	232	16%		160	17%		(72)	
アジア	224	15%		192	21%		(32)	
米州	143	10%		97	11%		(46)	
自動車用ガラス事業	768	53%	40	387	42%	(29)	(381)	(69)
欧州	335	23%		166	18%		(169)	
アジア	174	12%		99	11%		(75)	
米州	259	18%		122	13%		(137)	
高機能ガラス事業	101	6%	18	81	9%	14	(20)	(4)
欧州	17	1%		13	2%		(4)	
アジア	80	5%		65	7%		(15)	
米州	4	0%		3	0%		(1)	
その他	3	0%	(27)	2	0%	(18)	(1)	9
合計	1,471	100%	88	919	100%	(6)	(552)	(94)

建築用ガラス事業 2020年3月期第1四半期との比較

欧米を中心にCOVID-19による需要減の影響を大きく受け減収減益。太陽電池パネル用ガラスは堅調



欧州 (減収・減益)

- 各地でのロックダウンに伴う出荷数量減、生産中止の影響
- 6月末にかけて大半の設備で生産レベルが回復

アジア (減収・増益)

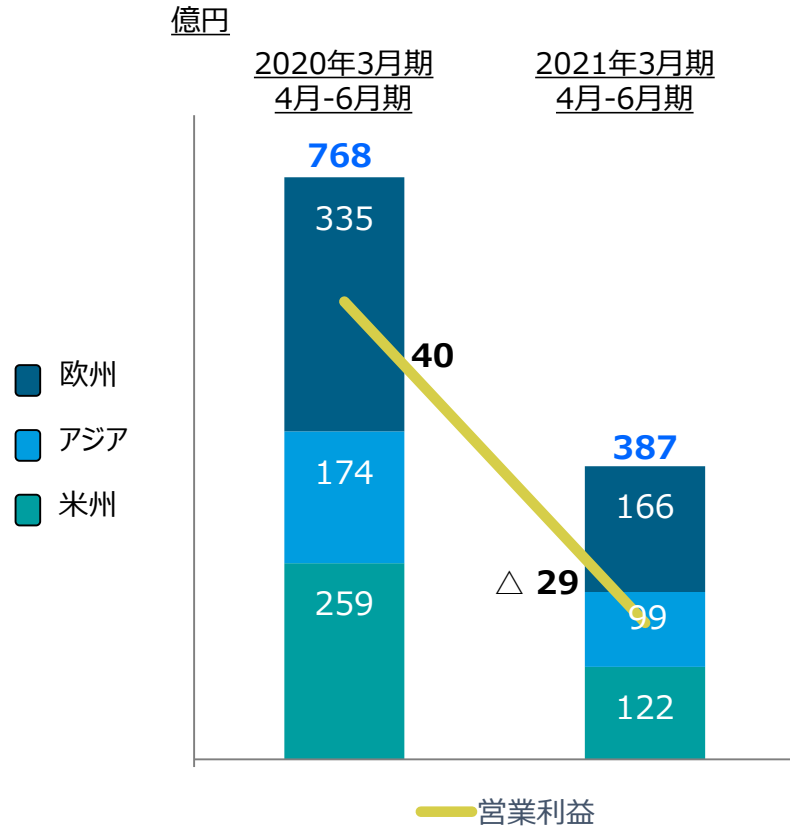
- 日本では他地域に比べてCOVID-19影響は比較的軽微
- 太陽電池パネル用ガラスの出荷が堅調に推移
- 千葉およびマレーシアのフロート窯（各1基）は計画通り休止

米州 (減収・減益)

- 北米は太陽電池パネル用ガラスの出荷は堅調な一方で、一般建築用ガラスはCOVID-19影響により出荷減少
- 南米はCOVID-19影響に加えて為替変動の影響で減収

自動車用ガラス事業 2020年3月期第1四半期との比較

4-5月の自動車生産台数の激減により甚大な影響を受けるも6月に入り各地で生産は急回復



欧州 (減収・減益)

- COVID-19によるカーメーカーの休止で自動車生産が大幅減。補修用ガラスもロックダウン影響で低調

アジア (減収・減益)

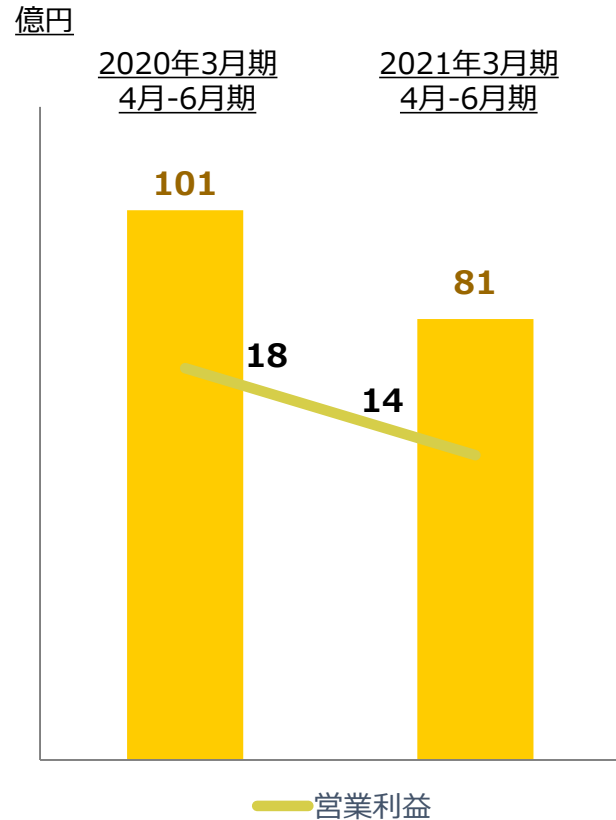
- 欧米地域に比べ影響は比較的小さいが、低稼働により収益は悪化

米州 (減収・減益)

- 北米はCOVID-19影響で数量減少するも、6月は自動車生産が想定以上に回復
- 南米の生産も通常レベルを大きく下回って推移

高機能ガラス事業 2020年3月期第1四半期との比較

COVID-19影響を受けるも、他事業に比べて比較的軽微



高機能ガラス事業 (減収・減益)

- ファインガラスは、COVID19影響による数量減を売上構成改善等で一部相殺
- プリンター用レンズは、需要軟化の影響を受け減少減益
- グラスコードは欧州自動車市場の影響を受け減少減益
- バッテリーセパレーターの業績は比較的安定

新型コロナウイルス感染症の事業影響

経済再開を受けて、欧米でも操業を再開し徐々に正常化へ

建築用 ガラス	<p>6月以降各地域とも順次生産正常化へ</p> <ul style="list-style-type: none">・ 欧州：6月末時点で1窯を除き全窯稼働再開。一部は低稼働継続・ アジア：千葉・マレーシア各1窯は計画通り休止 それ以外は断続的に稼働率を落としつつもほぼ通常操業。ソーラー用はフル生産・ 米州：北米は断続的に稼働率を落としつつも全ラインが操業復帰 アルゼンチンはフル操業、ブラジル（セブラセ社）、チリは低稼働継続
自動車用 ガラス	<p>カーメーカーの生産再開に合わせて欧米も全事業所で操業再開</p> <ul style="list-style-type: none">・ 欧州：生産再開し徐々に改善するも多くのラインで低稼働や断続的操業 夏季休暇も想定・ アジア：稼働率を落として生産継続、夏季休暇も想定・ 米州：生産再開。北米は大きく回復、夏季休暇なし 南米は低稼働が継続。感染拡大の後ずれが生産性にも影響
高機能 ガラス	<ul style="list-style-type: none">・ 自動車関連製品は需要減のため、一部設備で稼働減を継続
グループ	<ul style="list-style-type: none">・ 原燃料材料の調達に大きな問題なし・ 入念な準備により、安全かつ柔軟な事業再開を実現

2021年3月期の改善アクション

2021年3月期の対策として現金支出の最小化・コストダウンに注力

手元流動性の確保

- 戦略投資を含め設備投資を減価償却費の範囲内に抑制、運転資本の増加も抑制
- 6月末までに400億円の融資枠を追加確保済
6月末の現預金残 365億円、未使用融資枠残 732億円

全社緊急コスト削減プロジェクト

- Q1で、直接費および間接費を約100億円削減
人件費（一時帰休・残業抑制・採用抑制・旅費交通費削減・公的補助金活用、役員・上級管理職報酬10%削減など）
経費（修繕費抑制、内製化による外注・請負費用削減、消耗品費削減など）

働き方改革・効率化の推進

- オフィス部門は可能な限り在宅勤務に切り替え
- リモートワークのインフラ環境を整備（ネットワーク回線増、モバイルPC配布、ウェブ会議システム充実等）
3月以降、取締役会、経営会議も含めて主要会議はリモートで実施
- これを契機に、働き方改革を推進

連結業績予想

COVID-19に関する設備休止費用等が個別開示費用に計上されることを反映。
 下期は個別開示項目を含めた損益見通しが明らかになった段階で改めて開示

(億円)	2020年3月期	2021年3月期	2021年3月期	2021年3月期			
	通期実績	Q1実績	上期見通し	通期見通し			
売上高	5,562	919	2,100	4,600			
営業利益／(損失)	212	(6)	-	-			
COVID関連個別開示項目後							
営業利益／(損失)	190	(121)	(150)	(200)			
個別開示項目(その他)	(218)	(1)	(10)	-			
金融費用(純額)	(118)	(24)	(60)	-			
持分法による投資損益	11	(4)	0	-			
税引前利益／(損失)	(135)	(149)	(220)	-			
当期利益／(損失)	(175)	(165)	(240)	-			
親会社の所有者に帰属する					(前期比売上高)		
当期利益／(損失)	(189)	(164)	(240)	-	Q1実績	年間予想	
					建築用	△25%	△15%
					自動車用	△50%	△20%
					高機能	△20%	△15%
					グループ	△38%	△20%

	Q1	Q2/Q3予想	Q4予想	年間
前期比売上高	△38%	△15%	△5%	△20%

今後を見据えてのアクション

事業収益を回復させ、持続可能な当期利益とキャッシュを生み出す

各事業の方向性

- 建築用ガラス：COVID-19の影響を受けるものの、比較的安定した需要を想定
ソーラー投資は早期の利益貢献を図る。新しいビジネスチャンスの取り込みによるVA化の一層の加速（抗ウイルスガラス、エレクトロクロミック、BIPVなど）
- 自動車用ガラス：需要回復には数年かかると想定。需要減に見合った操業体制の早期再構築
- 高機能ガラス：新規の需要分野の取り込みを急ぐ（マシンビジョン向けSLA、抗菌タッチパネル用薄板ガラス、長寿命産業用バッテリーなど）
- ビジネス・イノベーション・センター（BIC）：PCR検査機「PicoGene® PCR1100」の早期事業化、次世代光通信デバイスの開発等
- R&D：UK政府補助金による「水素エネルギーによるガラス製造法開発」、「抗ウイルスガラス開発」、自動車ガラスCASE対応新商品開発等

ノンコア資産・事業の売却も引き続き検討・実施

中長期の需要構造を見据えた抜本的改善計画を策定中

- 早期に実行に着手し、中長期の収益性改善、財務体質改善に結び付ける

今後期待する分野

Withコロナ、Afterコロナの社会で高まるニーズに対応し成長を目指す

健康

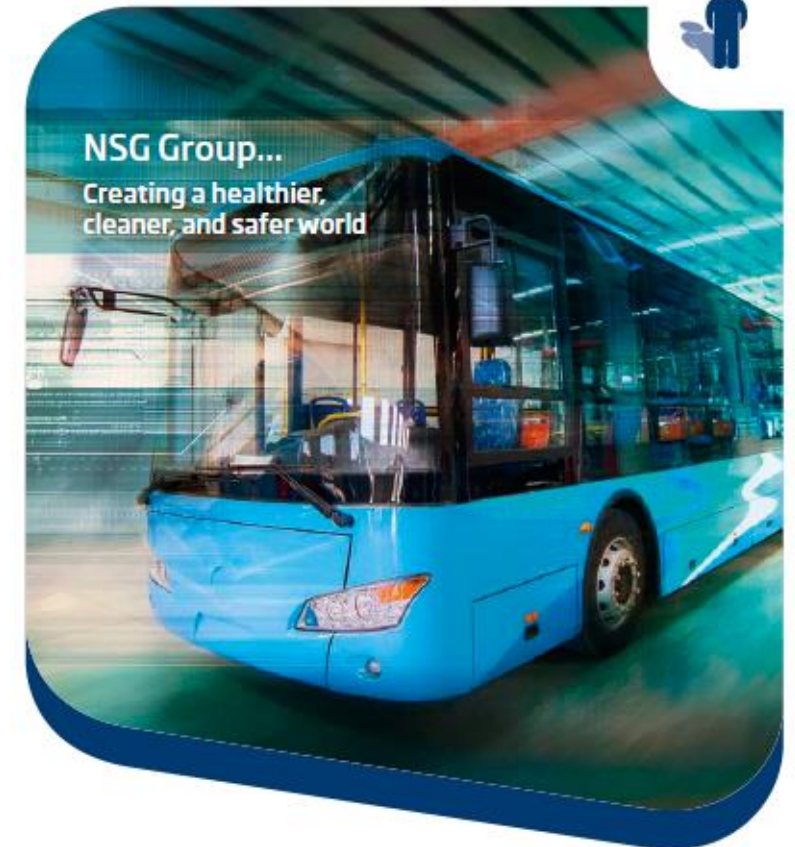
- PCR 装置「PicoGene[®]」：モバイル・リアルタイムの機能性が高評価
国内外から問い合わせ多く評価継続中
- COVID対策製品：「ウイルスクリーン[®]」をオフィス用等で用途開発
同時に新製品開発も日米欧で注力
北米の新製品はバスの窓や運転手保護壁としても対応

環境

- 薄膜太陽電池パネル用ガラス：需要は引き続き堅調
ベトナム新ラインはフル操業
北米新ラインも今期下期稼働に向けて建設工事進捗
- エレクトロクロミック用ガラス・BIPV用ガラス：
多くのスタートアップ企業と協業し日米欧で市場開拓中

通信

大容量高速通信インフラを支える光学系素子やコーティング・加工技術を用いた開発プロジェクトが進行

2021年3月期第1四半期決算

- 全世界でCOVID-19感染拡大の影響を受け、前年同期比40%近い売上減。ただし6月の回復は想定以上
- 建築用ガラス：欧米を中心にCOVID-19による影響を受ける。太陽電池パネル用ガラスは堅調
- 自動車用ガラス：自動車メーカー生産中止の影響を大きく受けるが、生産再開で回復基調に転じる
- 高機能ガラス：自動車用途を中心にCOVID-19の影響を受けるが限定的
- 入念な準備により、安全かつ柔軟な事業再開を実現
- 追加資金を手当て済み。コスト削減・キャッシュ節減に全力で取り組み

2021年3月期の見通しと今後の取り組み

- Q1を底に緩やかな需要回復を想定。緊急コスト削減プロジェクト実行等により、事業収益の回復を目指す
- さらに、抜本的収益改善策を検討・実行し、持続可能な当期利益とキャッシュを生み出す事業構造への変革を図る
- Withコロナ、Afterコロナの社会で高まるニーズに対応し、成長を目指す

ご注意

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境及び競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市場環境、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

日本板硝子株式会社

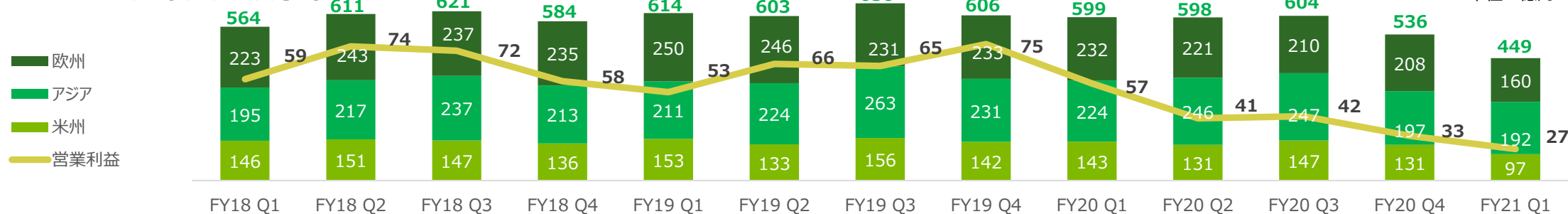
補足資料

- 事業部門別・地域別業績 四半期別推移
- 個別開示項目
- 2021年3月期業績予想 補足
- 為替レート等
- 減価償却費・資本的支出・研究開発費

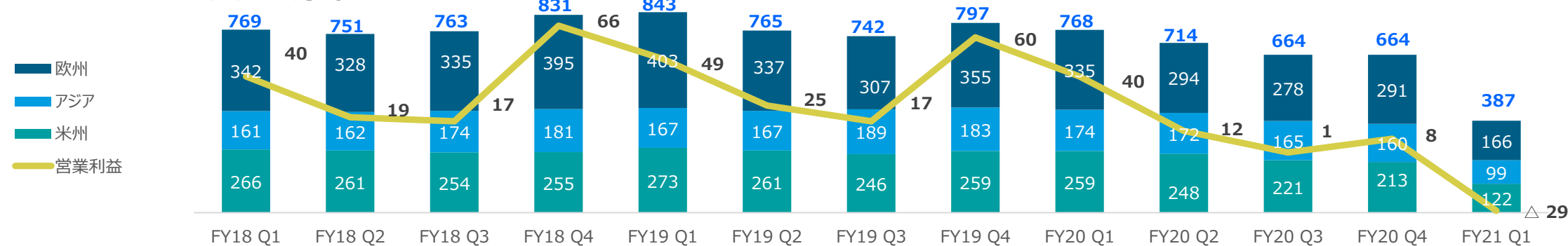
事業部門別・地域別売上高及び営業利益

四半期別推移

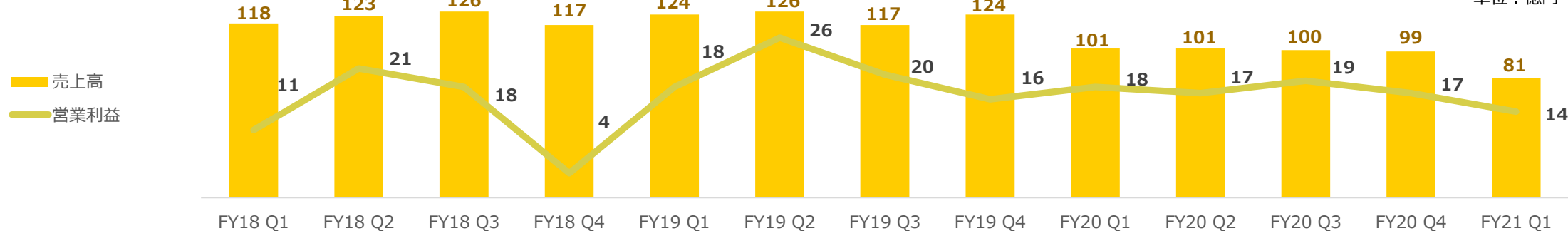
建築用ガラス事業



自動車用ガラス事業



高機能ガラス事業



個別開示項目

単位：億円

収益

新型コロナウイルス感染症に係る政府支援による収益^{*}
 子会社及びジョイント・ベンチャーの売却による利益
 その他

	2020年3月期 4月-6月期	2021年3月期 4月-6月期
	-	8
	10	6
	-	0
	10	14

費用

新型コロナウイルス感染症による設備休止等に係る費用^{*}
 リストラクチャリング費用
 設備休止に係る費用
 有形固定資産等の減損損失
 その他

	-	(123)
	(8)	(4)
	(5)	(1)
	(2)	-
	(1)	(1)
	(16)	(130)

^{*} 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のまん延により影響を受ける直接費と回収不能な事業運営コスト、及びそれに関連して政府により支給される補助金を個別開示項目として計上。これらにはCOVID-19により生産活動に従事できない従業員への給与支払や休止設備の維持費用、施設の安全な作業環境整備のために生じた清掃費用などの直接費用を含む。（総費用 △123億円、政府支援による収益 8億円）

2021年3月期業績予想 補足

グループ	売上は、季節性の変動があるも徐々に回復 年度末までに前年度に近いレベルまでの戻りを想定
建築用ガラス	経済活動は緩やかに正常化していく見通し。アジア2窯休止織り込み 各地域で需要がGDP、建築活動など先行指標を追従する想定 太陽電池パネル用ガラスは引き続き需要堅調
自動車用ガラス	欧州、日本、北南米での自動車生産動向に沿って回復 前年比20%強の台数減を想定 補修用ガラスはより早く回復
高機能ガラス	相対的にCOVID-19による需要減の影響は限定的だが回復のタイムラグを想定

為替レート等

期中平均レート

	FY2018				FY2019				FY2020				FY2021
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
英ポンド	142	144	146	147	149	147	146	146	141	137	138	138	133
ユーロ	122	126	128	130	131	130	129	129	124	121	121	121	118
米ドル	111	112	111	111	110	111	111	111	109	109	109	109	107
ブラジル・リアル	34.6	35.0	34.8	34.4	30.4	29.3	29.3	29.4	28.0	27.6	27.2	26.4	19.9
アルゼンチン・ペソ	7.06	6.74	6.65	6.30	4.70	-	-	-	-	-	-	-	-

期末レート

	FY2018				FY2019				FY2020				FY2021
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1
英ポンド	146	151	152	150	145	148	141	144	137	133	144	133	132
ユーロ	128	132	136	132	128	132	127	124	123	118	122	119	121
米ドル	112	113	113	106	111	113	111	111	108	108	109	108	107
ブラジル・リアル	34.0	35.4	33.9	32.1	28.6	28.2	28.5	28.3	28.3	26.0	27.1	20.8	19.9
アルゼンチン・ペソ	6.81	6.42	6.03	5.30	3.94	2.84	2.93	2.53	2.53	1.88	1.82	1.68	1.53

為替感応度

他の条件に変動がない条件で、為替レートが他の通貨に対して1%円高になった場合の増加（減少）額

(億円)	FY2019	FY2020
資本	(33.0)	(31.0)
当期利益/(損失)	(2.0)	1.0

減価償却費・資本的支出・研究開発費

単位：億円	2020年3月期 4月-6月期	2021年3月期 4月-6月期	2021年3月期 見通し
減価償却費	87	86	370
資本的支出（無形資産を含む）			
通常投資	51	22	220
戦略投資、他	131	62	150
合計	182	84	370
研究開発費			
建築用ガラス事業	7	5	
自動車用ガラス事業	7	5	
高機能ガラス事業	2	2	
その他	7	9	
合計	23	21	90

NSG

GROUP